

彦根城が世界遺産の「事前評価」を受けました！

問 彦根城世界遺産登録推進室
☎ 26-5833 FAX 26-5899

7月4日に、「彦根城」が世界遺産登録に向けて事前評価の制度を活用することを永岡文部科学大臣が、発表しました。

これまで、世界遺産に登録されるための流れは、各国が国内の暫定リストの中から推薦の準備ができたものについて推薦書を作成し、ユネスコの世界遺産センターに提出、イコモスという専門機関の調査を経て世界遺産委員会で審議されるというものでした。

今回、彦根城が受ける事前評価とは、各国が国内推薦を決定する前に、価値の証明などに問題がないかを確認するため、あらかじめ評価を受けておくという制度です。事前評価は、国内推薦を決定するための事前の準備ですので、彦根城が世界遺産の登録に一步近づいたと言えます。

ひとくちメモ

ユネスコ…教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の機関です。世界遺産に関しては、登録や保護などを行っています。

イコモス…人類の遺跡や歴史的建造物などの保全のための国際組織です。ユネスコの諮問機関として調査や審査などを行っています。

～彦根城世界遺産登録へのあゆみ～

国内の世界遺産暫定リストに記載

登録条件を満たすための作業（研究・整備など）

推薦書素案を作成

国に推薦書素案を提出

ユネスコの事前評価

国がユネスコへ推薦書を提出

イコモスによる調査 & 結果勧告

ユネスコの世界遺産委員会で登録の可否を決定

世界遺産に登録！

イマココ



世界遺産登録を目指す

彦根城にはどんな価値があるの？

～広報担当 森脇が世界遺産登録推進室に聞いてみた～

彦根城が世界遺産登録にふさわしい点は？

「江戸時代の城は、地域唯一の統治拠点として250年間の平和を維持する役割を果たした。彦根城は、この役割を最もよく説明できる遺産」といえるところですね。

江戸時代のお城は、戦国時代と違って平和を維持するための政治を行う役割を持っていました。城主と重臣たちは近くに住んで話し合いで政治を行っていたのです。彦根城は、このような「形」が今でも残っているんです。

なるほど！今でも残っているからこの仕組みを説明できるんですね。

彦根城世界遺産登録推進室
室長補佐
三尾 次郎

そうなんです。左の写真を見てください。彦根城の中堀より内側（赤枠内）に、天守はもちろん表御殿や重臣屋敷跡、庭園（玄宮園）、藩校跡が集まっています。



登録範囲は天守だけじゃなく、この中堀の内側全部なんです！

また、登録範囲内にある玄宮園では、名勝のお庭から、特別史跡の石垣や国宝の天守を望むことができます。このような景観は、日本でも彦根城でしか見ることができません。



お庭からも天守を望めるのが日本でも彦根城だけってことは、世界でも彦根城だけってことですか？

そのとおり！彦根城は世界で唯一の「形」と「景観」が今も残っているんです。江戸時代の「姿」を感じられることに、彦根城のスゴさが詰まっています。